

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E111C020		体育(小) (Physical education (elementary school))							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態				
必修	1	1	教育学部 令和2年度 以降入学生用		金3	日本語				オムニバス、クラス分け				
担当教員	氏名 谷口勇一、内倉康二													
	E-mail tyuichi@oita-u.ac.jp 内線 谷口7628 内倉7630													
授業の概要	子どもの運動発達や体育授業に関する意識について学習した上で、小学校体育の運動領域のうち、主として陸上運動系、ボール運動系を中心にその技能を高めるために体育実技を行う。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	短距離走・リレー、ハードル走及び走り高跳びを中心とした走・跳の運動ができる。						○							
目標2	バスケットボールにおけるドリブル、パス、シュートなどの各種のボール操作とそれを用いたゲームが実践できる。						○							
目標3	各種の運動を通じて、安全に配慮しながら活動・参加しようとする。							○						
目標4	各種の運動を通じて、自らの技能の課題を立てて解決しようとする。						○		○					
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								4	3	3				
授業の内容														
1	子どもの健康課題、運動発達と体育授業に関する意識													
2	短距離走・リレー(1)													
3	短距離走・リレー(2)													
4	ハードル走													
5	シュート													
6	各種のボール操作													
7	ミニゲームの実践													
8	小学校体育授業の考え方													
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
ラーニング	A:知識の定着・確認		○	グループでの作戦に関する意見交換・交流				工夫その他の						
	B:意見の表現・交換		○	各種運動技能に関する意見交換、課題設定、振り返りレポート(最終課題で改めてまとめる)										
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		運動に向けた技能の理解(10h) 各種運動に関するルールの理解(5h)											
	事後学修		運動を通した技能の振り返り(5h) 各種運動を通した最終課題(3h)											
	想定時間合計		23											
教科書	教科書は指定しない													
参考書	文部科学省、『小学校学習指導要領解説 体育編』、平成29年 清水由、『運動と指導のポイント 陸上』、大修館書店、平成20年 清水由、『運動と指導のポイント ボール』、大修館書店、平成22年													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	実技の到達度		60%	○	○								
	最終課題		40%			○							
注意事項	運動のできる服装で参加すること。												
備考	授業内容に応じて、授業実施場所が異なる。授業内でなされるアナウンスをよく聞いておくこと。												
リンク													
	URL												